

## 瀬戸内タウンミーティング（今城地区）

平成 24 年 10 月 17 日（水）午後 7 時～午後 8 時 45 分  
今城コミュニティセンター 大会議室

参加者：男性 9 人、女性 1 人、計 10 人

### 意見交換

・市の若い職員 2 人が熱心に道路の調査をしていて感心した。

（市長）おそらく建設課の職員だと思う。伝えておく。

・水道の経営健全化について、現場の知識を持っている課長に指揮監督をお願いしたい。大雨の際、吉井川の水位はどのくらいか聞いたとき、「工務のことで頭がいっぱいで把握できていない」と言っていた。現場を知らない人が、指揮監督するのは難しいのでは。

（市長）今年度の機構改革により浄水場と工務の管理を施設課が行うようにした。浄水場を孤立させないようにするため、水を作るところ（浄水係）からご家庭に届けるところ（工務係）まで連携をとって行おうということ。今年度は始まったばかりでご不便をおかけしている。

・長船での新たな水源地確保の調査は経費の無駄になっているのではないか。

（市長）現在広域水道企業団から瀬戸内市に対して決められている入水量の 40%を受水している。その他を長船の水源地などから賄っているが、長船の水源地の井戸も永久には使えないので、新たな水源を調査しておくことは必要。

・農業排水について、排水路が整備されていなくて水が引かない。家庭排水も混ざっているので水質もよくない。一等米を今後も作れるように整備をしてほしい。

（市長）水路については、受益者の負担金は廃止した。優先順位をつけて必要なところから、一般財源で改修できるようにしたい。

・ブルーラインの法面について、管理が道路公団から県に代わって、法面の草刈りが一部しかできていない（法面上側 1メートル）。しっかり管理してほしい。

（市長）県に問い合わせたが、一般県道と同じ扱いなので今刈っている辺りまでしか刈れないということである。今後も継続的に県に働きかけていきたい。

・市もいくらか予算を出して、法面の草刈りをしては。

(市長) 県道に対して市が予算を出して草刈りをするができるか、難しい課題である。

・瀬戸内市は災害に強いという話だが、昨年干田川のポンプがとまった。夕方には雨が止んだにもかかわらず朝も水位が下がっていなかった。干田川の排水能力を検討してほしい。

(市長) 干田川のポンプは、発電機の故障でとまった。国の管理になる。オーバーホールを行うなど維持管理に努めている。

干田川についても、要望活動を国会議員にしている。今後も継続的に働きかける。国が動いてくれないと、前に進まない。

・道路拡幅の関係で要望書を出すなかなか対応してもらえない。上寺など救急車も消防車も入ることができない場所もある。要望を聞いてほしい。

(市長) 要望書について、現状は常時受付をしている。受付期間を設け、それに対して返答をするなど、要望に対する対応状況が示せるように検討したい。担当課にも要望書の対応について見直しを検討させたい。

・大富駅が開通 50 年になる。利用者も多いので、整備をしてほしい。難しい問題だと思うので、関心だけは持っていてほしい。

(市長) 大富駅の辺りが農振地域であり、県に働きかけて農振を外す協議をした。また宮下についても工業団地の件で農振解除の協議をした。一度には難しく優先順位もあるので、宮下が落ち着いたら大富についても働きかけたい。区画整理を行うと都市計画が絡む。なんとか都市計画を敷かなくてもよい方法でできないかも考えている。

・赤穂線沿いの草が伸びて、運転中危険である。どこにお願いしたらよいか。  
・今城地域の赤穂線沿いではないが、同じ要望を JR 岡山支社に提出した。その後保線区に要望が伝わるようだ。

(市長) 市も JR に要望に行っている。JR 駅のトイレの件も含めて要望したい。

・赤磐市が 20 億円(建築工事費、設計監理委託料、備品購入費、その他経費を合わせて約 12 億 8,000 万円)かけて図書館を建設した。市民にも好評で利用者も多い。瀬戸内市も批判もあるが、よい図書館を建設してほしい。

(市長) 赤磐市の図書館は 3,100 平方メートル。赤磐と比べると小さくなるが、瀬戸内市は公民館と一体的に使って、場所の有効活用をしたい。図書館の機能を考えた上で建物をつくり、無駄なスペースをなくし市民に有効活用されるよ

うな図書館にしたい。

・**今城地域の道路の舗装をしてほしい。**

(市長) 下水道を敷設しているところは、そのタイミングで舗装できている。今城地域は、下水道がまだ届かないので不公平感はあると思う。要望書をあげるだけでなく、地元からの声もしっかり担当へ伝えてほしい。